

「創造的事業展開に向けて」

1. はじめに

雇用・能力開発機構の職業能力開発施設の1つであり、かつ先導的役割を担う当センターにおいては、企画開発機能および情報発信機能を強化し、能力開発事業の高度化等に資するための行動目標として、「平成15年度創造的事業展開」を策定しています。

この「創造的事業展開へ向けて」は、当センター全職員の協力のもと、組織横断的に人材を結集した企画開発プロジェクトチーム（以下、「プロジェクト」という）で取り組んでいます。

2. 企画開発プロジェクト

「技能および技術の動向ならびに雇用失業情勢に合わせた高度・先導的な職業能力開発に係るコース（在職者訓練および離職者訓練）についての企画開発、実施（検証）、ならびに普及のための調査研究開発を行うべく、既存の系の枠を越えて関連する部署・職員の英知を結集するとともに、センターの業務運営に寄与するよう企画開発プロジェクトを設置し、調査研究開発事業を推進する。」という趣旨のもとに、プロジェクトを設置しました。

本プロジェクトメンバーには、「課題に対する事実の把握と解決策の打ち出し、そして、行動する。」というねばり強くかつ真剣な取り組み姿勢が求められ、そこには、組織の枠を越えた自由闊達な、そして、真摯に議論する場が存在しています。

3. 創造的事業展開に向けて

今年度は次のような課題を設定し、能力開発を実施するなかで、セミナーの高付加価値化（サービスの向上）、指導員の相互研鑽・資質の向上、当センターの使命としての情報発信等々に取り組んでいます。

(1) セミナーコース設定の形式知化

生産現場等における先端技術と職業能力開発との関連を明確化し、開発したコースの位置づけ等を形式知化することにより、当センターにおけるセミナーコースの的確性の向上を図ることを目的としています。

一例として、特定の技術遷移を中心に見るのではなく、研究から事業化への遷移など、いわゆる産業の動きを視点としたコース開発のあり方を検証しています。

（参照 図1「産業界の技術遷移プロセスと能力開発訓練コースとの相関（素案）」）

(2) セミナーの高付加価値化（サービスの向上）

在職者訓練事業であるセミナーの高付加価値化をねらいとしたインターネット活用のサービスを昨年度より試行しています。「Web利用による訓練教材開発研究」と、「e-Learning構想（eee-Net構想）」をドッキングし、遠隔訓練におけるあり方を研究試行しています。

本年度は継続課題として構想の具体化と拡充を図

産業界の技術遷移プロセスと能力開発訓練コースとの相関（素案）

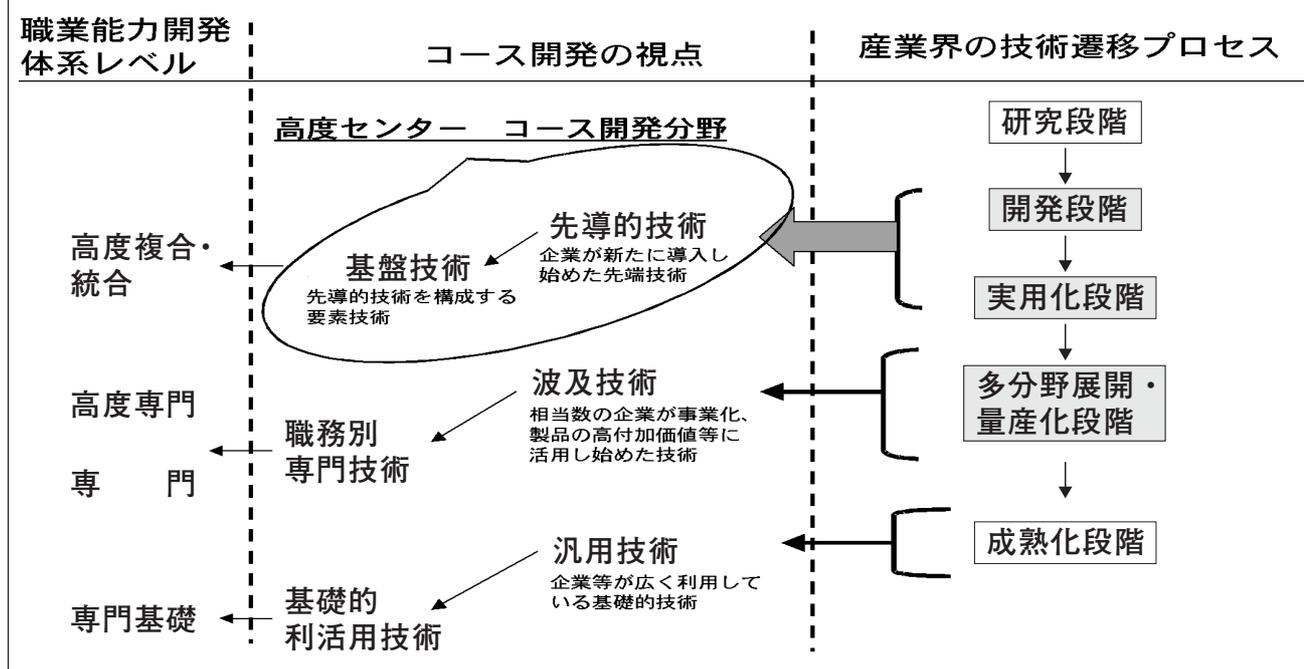


図1 セミナーコース設定の形式知化モデル

っています。

(3) 高度化研修の高付加価値化

指導員研修である高度化研修の高付加価値化を目的に、指導員相互の支援ネットワークを形成するしくみを企画しています。

- ① 指導員ネットワークによる相互研鑽の場の提供
- ② 研修成果である訓練の実施展開の支援

(4) 在職者訓練の新たな訓練プログラムの企画開発
自立型企业への転換等に資するための企画開発型人材育成を目的として、先導的技術とそれを構成する基盤技術の習得や交流の場（「先輩に学ぶ」等）を複合化した実践的訓練プログラムを企画開発します。

(5) 情報発信機能の強化

当センターの業務から日々生成される成果を情報資源とし発信するしくみを整備し、指導員業務に活用いただけることを目標にしています。

4. おわりに

現在、創造的事業展開の実現に向けて、1つひとつ課題をクリアしながら、職員が一丸となって取り組んでいます。今回ご紹介できなかった他の情報を含め、日々生成される成果については、高度ニューズレターの発行、指導員ネットワーク等を通して、お伝えしていきたいと考えています。

また、今回の特集号を通しての感想やご紹介しました「トリプルeネット」や「インフォメーションCD」等のお問い合わせにつきましては、下記までお気軽にご連絡ください。

Mail: eeenet@apc.ehdo.go.jp